

「鎌ヶ谷市環境美化対策推進協議会」令和7年度第3回会議 会議録

1 開催日時

令和7年10月15日（水） 午後1時30分～午後2時10分

2 会場

鎌ヶ谷市役所 本庁舎 6階 第2委員会室

3 出席者

(1) 環境美化対策推進協議会会議委員（11名）

高野武会長、小島正實副会長、片平房子委員、岡崎康子委員、
千葉頼孝委員、上野磯次郎委員、川田由美子委員、皆川洋子委員、
安東美紀子委員、本山宗治委員、飯塚博文委員

(2) 事務局（4名）

高野クリーン推進課長、神道係長、萩原係長、前田主任主事

4 傍聴者

なし

5 会議

(1) 会議録署名人の選出

名簿登載順にて、岡崎康子委員、皆川洋子委員を会議録署名人に選出した。

(2) 議題

「鎌ヶ谷市ごみの散乱のない快適なまちづくりに関する条例」における推進地区等の啓発について

（事務局が資料を基に説明）

会 長：何かご意見等はあるか。

委 員：（特になし）

→推進地区等の啓発事業について、異議なく承認された。

(3) 報告

令和7年度「クリーンフェスタ」及び「ごみの散乱のない快適なまちづくりキャンペーン」の実施結果について

(事務局が資料を基に説明)

会 長：多くの来場者で会場も賑わっており、運営側としても有意義であったと感じられた。これまで出展していた産業フェスティバルについては、今年度は中止となったが、今後の出展はどのようにするのか。

事務局：産業フェスティバルは、来年度から開催予定であるが、これまでの代替となる事業として、今回ニコカマフェスへ出展することとした。産業フェスティバルで実施していた傘の販売については、傘の供給が難航していることもあり、今後においても、代替の事業としてニコカマフェスにおいて、クリーンフェスタの出展を考えている。また、今回のイベントを通じて、これまでと趣向を変えたことにより、子どもたちの笑顔に触れることもできたため、清々しい気持ちになったことが印象的であった。

委 員：産業フェスティバルの実行委員会においても、ただ単にものを購入するだけでなく、鎌ケ谷市民に喜んでもらう内容を協議している。しかし、商工会は、商業と工業に分かれ、業種が多様であることもあり、協議がまとまらず、難航している状況である。

会 長：産業フェスティバルへの出展についても、これまでの傘の販売に限らず、他にもできることがあれば、検討していただきたい。

事務局：産業フェスティバルは、特に集客力のあるイベントであることから、環境美化について周知啓発を行う良い機会でもある。今回の事業により、新たな選択肢も増えたことから、今後においても実施の検討をしていきたい。

会 長：今回実施したクリーンフェスタは、初めての事業でもあったため、段取りがうまくいかず、徹底されていない部分もあった。役割の内容については、事務局の説明をよく理解する必要がある。

委 員：イベント当日は、啓発物の配布を行っていたが、私服で行っていたこともあり、人によっては、受け取ってくれない方もいたため、協議会スタッフ用のベスト等は用意してもらえないか。

事務局：今後において、協議会の予算により、ベストや法被等の購入を検討していきたい。共用のものを着用することで、団体としての統一感が生まれ、取組内容のPRにも繋がると考えられる。

会 長：着用することで、スタッフの区別が容易にでき、多くのスタッフが

事業に取り組んでいることを認知してもらうことができる。

事務局：クリーンフェスタを通じて、市民のごみに関する理解度を把握する良い機会となると共に、ごみ分別アプリの登録周知を行うことで、アプリダウンロード数の大幅な増加に寄与することができた。

市民まつりの環境フェアにおいても、ごみ分別アプリの登録周知を行い、今後のイベント等でも実施していくことを考えている。

会 長：スタンプラリーの位置付けが良く分からなかった。

事務局：ニコカマフェスの実行委員会が企画したもので、より多くのブースを訪れてもらうために実施したものである。

委 員：スタンプラリーがあることで多くの来客があり、スタンプ押印後に協議会のブースへ立ち寄ってもらえた方も多くいたので、企画としては良かったと思われる。

会 長：他に何かご意見等はあるか。

委 員：（特になし）

事務局：他にも改善点等の意見があれば、アンケート用紙等へ記入し、提出していただきたい。

（４）その他

令和７年度「むだナシフェスタ」の実施結果について

（事務局が資料を基に説明）

事務局：今回は屋内でブースを出展し、当日は雨空だったこともあり、より多くの方がブースに来場され、啓発クイズ等を楽しんでもらえた。

会 長：何かご意見等はあるか。

副会長：自治会のイベントでも、子どもが参加するイベントに家族をはじめ、多くの若者世代を集客することができるため、ごみ分別アプリ等の周知も効果的であると思われる。

産業フェスティバル等の各種イベントにより、来場する客層が異なることにも着目していただきたい。

会 長：自治会のイベントでは、地元の身近な参加者が多い傾向である。市で実施している取組内容を周知していくことも効果的であるかもしれない。

これらの内容も踏まえて、今後の事業を検討していただきたい。

他に何かご意見等はあるか。

委 員：（特になし）

そのほか特に質疑等なく閉会

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するために次に署名する。

令和7年10月22日

氏名 皆川 洋子

氏名 岡崎 康子